

## 採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	東京大学
拠点のプログラム名称	次世代ユビキタス情報社会基盤の形成
中核となる専攻等名	情報学環・学際情報学府学際情報学専攻
事業推進担当者	(リーダー) 坂村健 教授 外17名
<p>(拠点形成概要)</p> <p>本研究教育拠点は、情報通信環境が人類社会のすみずみまでゆきわたった21世紀型のユビキタス情報社会・経済を先導することを目的として、情報科学や情報工学、社会基礎理論、経済学、法学を融合した学際研究を推進する世界最高水準の拠点を形成する。ユビキタスは本拠点リーダーが世界に先駆けて提唱した情報学の革新的な分野であり、今日の世界の情報通信分野の研究開発だけでなく産業界をも先導する考え方となっている。しかも本拠点のような社会全体を俯瞰したユビキタス情報分野の学際研究は世界的に例がなくユニークである。本拠点形成計画を通して、社会に遍在する膨大な情報の統御技術やユビキタス型情報環境の構築技術、RFID (Radio Frequency Identification) などの電子タグ技術等を確立し、その成果を国内のIT産業の基盤強化に資する。更に、情報社会学や法学、経済学的観点から、ユビキタス情報社会への転換にむけた社会制度改革や政策提言を実施する。推進体制として、全学的バックアップの下で拠点リーダーを中心とした一貫した研究教育体制をとり、世界最高水準の研究を担う若手研究者を育成、国内外特にアジアの大学・産業界との密な共同研究の実施、学術論文による成果に加え特許・デジタルコンテンツの知的財産の形成を積極的に推進する。</p>	
<p>(採択理由)</p> <p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ユビキタス情報ネットワーク基盤という技術的視点だけでなく、これを含む社会基盤の形成を目指し、今後のユビキタス社会のあるべき姿を提案する革新的な課題である。有用データのアーカイブ構築も視野に入れて、人間社会が求める将来の社会基盤とは何かという本質を示すことにより、この分野における我国の先見性と先導性を世界にアピールすることが期待できる。</p>	
<p>&lt;革新的な学術分野であるポイント&gt;</p> <p>ユビキタス情報ネットワーク基盤という技術的視点だけでなく、配信するコンテンツ及び情報技術の社会適用における問題点の解決という視点も含めて「社会基盤の形成」を目指す点で、革新的な学術分野の開拓が期待できる拠点形成計画である。</p>	